

2017 年 10 月 12 日

事例 1 : Public Private Partnership (官民連携)

2017 年 10 月 26 日 (木) の講義にて、Public Private Partnership (PPP) に関して事例をベースとした議論を行う予定であるところ、2. の資料を読んだ上で、3. の論点に関して A4 で 1~2 ページ程度のレポートにまとめ、10 月 23 日 (月) の 13 時までに 4. の提出先に送付して下さい。

1. 題目

Public Private Partnership の構造と課題について
ーサイバーセキュリティーに関する事例を題材にー

2. 資料

- (1) ITU, “ITU Global Cybersecurity Agenda (GCA): A Framework for International Cooperation in Cybersecurity”, *International Telecommunication Union, Corporate Strategy Division*, 2007.
←関連参考資料 : “Report of the Chairman of High-Level Experts Group (HLEG)”, 2008.
- (2) 事例 : Nir Kshetri, “India’s Cybersecurity Landscape: The Roles of the Private Sector and Public-Private Partnership.”, *IEEE Computer and Reliability Societies*, 2015.
- (3) Christian Voegtlin, Nicola M. Pless, “Global Governance: CSR and the Role of the UN Global Compact”, Springer Science+Business Media Dordrecht, 2014.

3. 論点

- ・ 資料 (1) を踏まえ、International Telecommunication Union (ITU) が如何なる国際的枠組みのもと、サイバーセキュリティーに取り組んでいるかについて整理した上で、機能別国際機関がインターネット・ガバナンスにおいて果たす役割および限界に関して論ぜよ。
- ・ 資料 (2) の事例を踏まえ、以下①につき整理した上で、②および③に関して論ぜよ。なお、③については資料 (3) を参考資料とする。
 - ① 各事例における主要アクターの種類、役割、アクター間の関係性
 - ② インターネット・ガバナンスにおいて、民間が主導的に果たすべき役割には如何なるものがあるか。政府と民間の役割分担を考える際の基準を示した上で論ぜよ。
 - ③ また、国連グローバル・コンパクト (UNGC) のような自発的な国際枠組みはインターネット・ガバナンスに有効と考えるか否かにつき論ぜよ。

4. 提出先

城山英明教授 (siroyama@j.u-tokyo.ac.jp)、CC で TA 笹川亜紀子 (akkokoko@gmail.com)
(メール送信時のタイトルは、「国際行政論 2017 事例 1_(氏名)」としてください。)

以 上